



第1回 災害時外国人サポーター講座 in 京都

～ 多文化共生社会へ向けて、京都在住外国人に学ぶ & ベトナムを知る ～

2020年 **9月5日** (土) 13:30 ~ 16:00

参加無料

会場

① 会場参加 : 京都経済センター 6F 会議室6-D 定員 50名 (要申込)

② WEB参加 : Zoom使用 定員 100名 (要申込) (*会場の様子をオンラインでお伝えします)

イベントHPはこちら



対象

多文化共生に関心がある方、災害時に通訳・翻訳による外国人支援に興味ある方

災害時外国人サポーターとは

災害発生時に、外国人被災者に対して、災害に関する情報を外国語や「やさしい日本語」に変換して伝えたり、相談に対応したりすることで安心を届けるボランティアです。本講座は、日本で災害が頻発している現在において、少しでも多くの方に、災害時に外国人住民にどのようなサポートができるかを学んでもらうことを目的にしています。

第1部 「パキスタンのコミュニティ防災の取組みと日本での生活経験を通して」 ※日本語通訳有



講師：WAQAS AHMED RAZA 氏 パキスタン出身・京都大学大学院 工学研究科 災害リスクマネジメント専門

パキスタン出身のRaza氏は、現在JICAの留学生として京都大学大学院にて防災・災害におけるリスクマネジメントを研究しています。パキスタン各地のコミュニティによる災害時の取組みや、2年間の京都での暮らしを通じた日本の防災における気づき、イスラム教徒として提案する非常食としてのハラール食など、日本に暮らす外国人の立場から、日本人と外国人が災害を共に乗り越えていくためのヒントを講演していただきます。

第2部 「ベトナム人と暮らし、働くためのヒント」



講師：橋本 秀憲 氏 現 JICA関西 市民参加協力課 / 前 JICAベトナム事務所 円借款・民間企業向け投融资担当

近年、多くのベトナム人が日本に暮らしていますが、私たちはベトナム人のことをどれほど知っているのでしょうか？ インドシナ難民として来日した人もいれば、現在のように技能実習生や留学生として来日する人もいます。人によって時代背景も出身地も宗教もとても多様です。今回、学生時代に1年間、JICA駐在員として4年間、ベトナムにて暮らしてきた橋本氏より、ベトナム人と共生するためのヒントを講演していただきます。

第3部 「京都の災害時外国人支援について」



講師：山本 聖也 氏 公益財団法人 京都府国際センター 事業課 防災担当

近年、日本各地で大規模災害が頻繁に発生しています。災害時において外国人住民は、日本語の理解が充分でない場合など、災害弱者になってしまう可能性があります。災害時に外国人住民に言語等によるサポートができる人材は今後より重要になると思います。そこで今回、京都における災害時の外国人住民へのサポートの現状と課題や、「災害時外国人サポーター」の役割、「多言語支援センター」などについて紹介します。

お申込み

公益財団法人 京都府国際センター (担当：山本) ☎ 075-342-5000 / ✉ s-kouza@kpic.or.jp

メールタイトルを「第1回 サポーター講座参加」とし、上記まで以下①～⑤をご連絡ください。
※WEB参加をご希望の方は、メールでのお申込みをお願いいたします。当日参加できるURLをお送りします。

申込〆切：9/3(木)まで

- ①お名前
- ②ご所属
- ③電話番号・メールアドレス
- ④参加方法 (会場 or WEB)
- ⑤通訳・翻訳可能言語 (任意)

※新型コロナウイルス感染症対策として、会場入室時の手指消毒・検温及びマスク着用にご協力をお願いします。
(37.5度以上ある方等につきましては、入場をお断りする場合がありますので、ご了承ください)

主催：公益財団法人 京都府国際センター 協力：独立行政法人 国際協力機構 関西センター (JICA関西)

